

セイヨウナシの新病害 “くもの巣病”

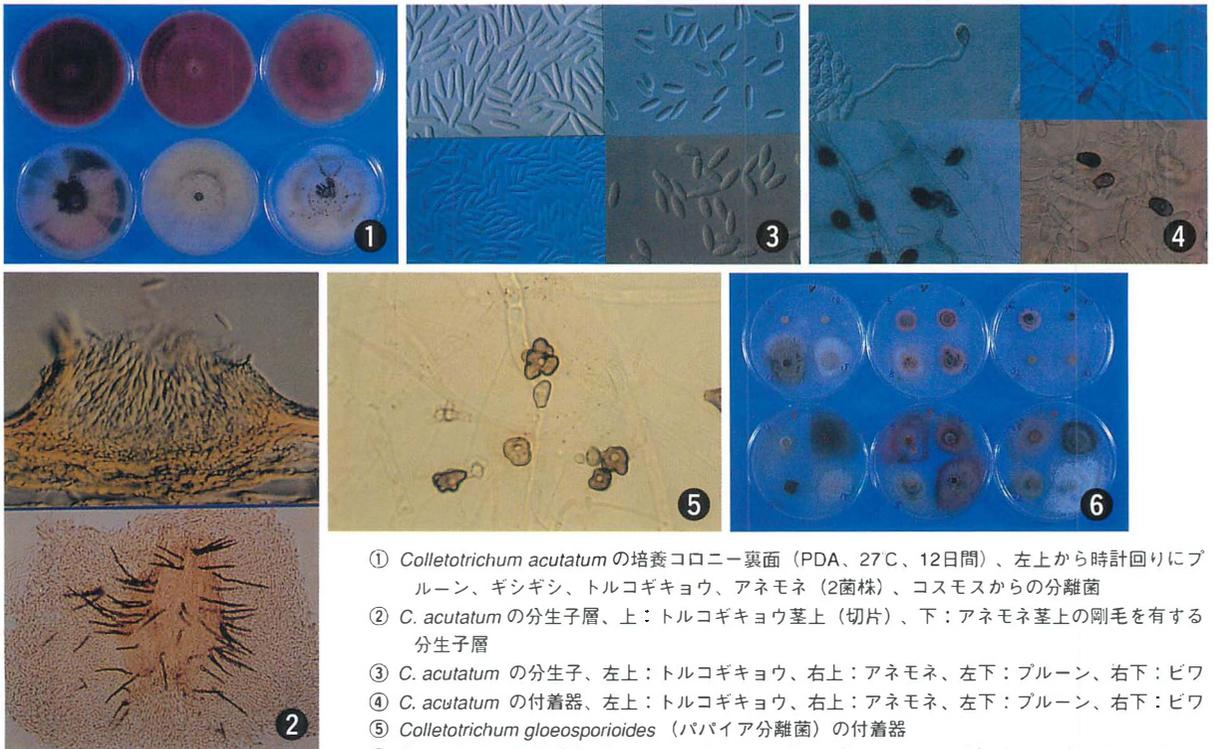
(那須英夫氏原図、本文 15 ページ参照)



- ① セイヨウナシ (パス・クラサン) くもの巣病の発病樹
- ② くもの巣病の被害葉
- ③ 枝に増殖した *R. solani* の白い菌糸とその菌核
- ④ パス・クラサンの果実上をほふくしている菌糸

炭疽病菌の分類の問題点と同定法

(佐藤豊三氏原図、本文 19 ページ参照)



- ① *Colletotrichum acutatum* の培養コロニー裏面 (PDA、27°C、12日間)、左上から時計回りにブルー、ギシギシ、トルコギキョウ、アネモネ (2菌株)、コスモスからの分離菌
- ② *C. acutatum* の分生子層、上：トルコギキョウ茎上 (切片)、下：アネモネ茎上の剛毛を有する分生子層
- ③ *C. acutatum* の分生子、左上：トルコギキョウ、右上：アネモネ、左下：ブルー、右下：ピウ
- ④ *C. acutatum* の附着器、左上：トルコギキョウ、右上：アネモネ、左下：ブルー、右下：ピウ
- ⑤ *Colletotrichum gloeosporioides* (ババアア分離菌) の附着器
- ⑥ *C. acutatum* および *C. gloeosporioides* のベノミル (1, 250 ppm、上) またはジエトフェンカルブ (625ppm、下) 添加 PDA 培地上での生育 (25°C、11日間)、5、6、7、8、15、29： *C. acutatum* (両培地で生育)、13、14、30、31、32： *C. gloeosporioides* (ジエトフェンカルブ添加培地 (下) でのみ生育)、16： *C. gloeosporioides* のベノミル耐性菌 (ベノミル添加培地 (上) でのみ生育)